

「公共事業コスト縮減行動計画2010」の概要

1 背景

公共事業を効率的かつ効果的に執行し、適正な価格で良質な社会資本を整備することが必要

「とちぎ未来開拓プログラム」を着実に推進するため、さらに高いコスト意識をもって取り組んでいくことが必要

平成22年7月
「公共事業コスト縮減行動計画2010」策定

2 「行動計画2010」のポイント

計画期間

平成22～26年度（5年間）

計画段階から維持管理まで、全ての段階でコスト縮減に取り組みます。

（5分野）

（主な内容）

- | | |
|------------------|-----------------------|
| 1 工事コスト | 計画・設計の見直しや新技術の採用による低減 |
| 2 時間的コスト | 効率的に工事を実施し整備効果の早期発現 |
| 3 ライフサイクルコスト | 耐久性を向上させ維持管理コストを低減 |
| 4 環境的コスト | 現場発生材の再利用や環境への負荷低減 |
| 5 効率性向上による長期的コスト | 工事関係手続きの電子化による低減 |

縮減目標

継続して5分野に取り組み、前行動計画（2005）で達成した15%以上(平成16年度基準)の水準を5年間維持していきます。

全庁的な取組

公共事業のコスト縮減を図るためには、公共工事担当部局のみならず、引き続き関係部局と連携して一体となって取り組めます。

実施にあたっての重点事項

- ・品質を確保しながら、より効率的な事業執行に努めます。
- ・県内経済の下支えや雇用を確保するため、計画的な工事発注と県産品の利用促進に努めます。
- ・施工性や経済性に優れた材料や工法等の新技術活用に努めます。